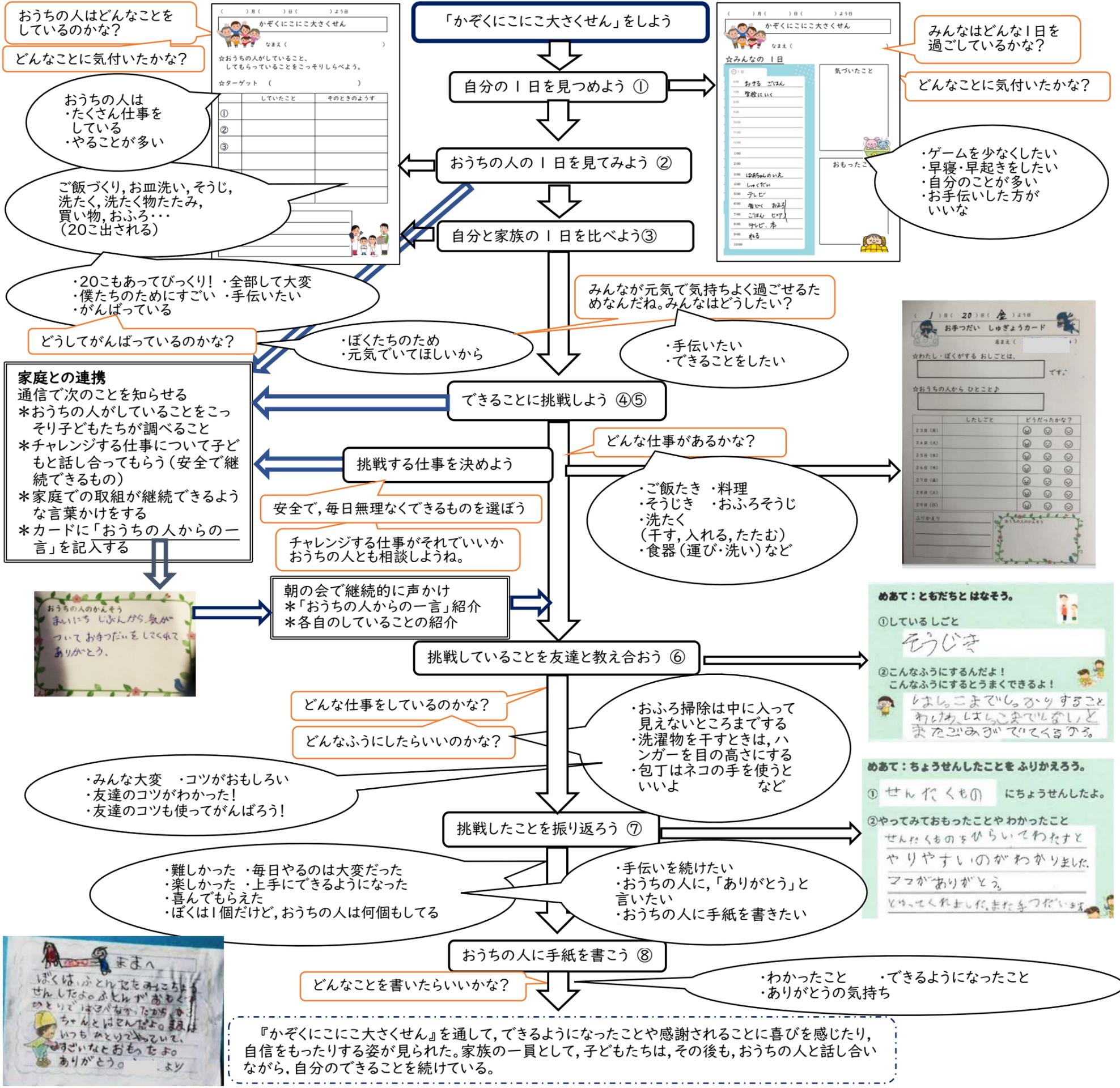


竹田市立南部小学校 1年生 12月~1月 単元名「かぞく にこにこ 大きくせん」(8時間)

単元目標	家庭生活に関わる活動を通して、家庭での楽しみ、家庭における自分の生活や役割などについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることがわかり、家族の一員として、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気をつけて生活したりすることができるようにする。		
内容	学校・家庭及び地域の生活に関する内容 自分自身の生活や成長に関する内容	(2) 家庭と生活 (8) 生活や出来事の伝え合い (9) 自分の成長	
幼児教育からのつながり	自立心	社会生活とのかかわり	健康な心と体

【学びのプロセス】\*○数字は、何時間目かを表す

「家族がにこにこしているときって、どんなときかな?」という問いかけに、「みんなで話しているとき」「字をきれいに書いたとき」「洗濯物をたたんだとき」「食器を持って行ったとき」などと、子どもたちから考えが出された。「おうちの人がにこにこしているとうれしいね。」「にこにこしてもらいたいな。」との思いや願いから、『かぞくにこにこ大きくせん』を行うことになった。家族の様子を知るために、まずは自分たちが家でどんなことをしているかを見直すことになった。



◇家庭との連携  
 家庭生活に関わる活動が主となるため、通信等で家庭への願いを知らせ、家庭へ協力を働きかけ、活動の意欲が続くようにする。  
 ◇継続した取組ができるように、「朝の会」やカードのコメント欄を活用して、実践の進捗状況を確認したり、励ましの言葉かけをしたりする。  
 ◇取組の状況や自分の成長に気付けるように、『かぞくにこにこ大きくせん』カード等に記入して、ポートフォリオとして活用する。  
 ◇道徳科の「家族愛、家庭生活の充実」や学級の係活動等と関連した指導を行う。

本単元を通して育つ資質・能力	《知識・技能》 家庭生活に関わる活動を通して、家庭での生活は互いに支え合っていることがわかっていく。	《思考力・判断力・表現力等》 家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことや自分でできることなどについて考えていく。	《学びに向かう力・人間性等》 家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気をつけて生活したりしようとしている。
----------------	---	---	--